

奈良県を訪れるインバウンドはどこに向かう？

城西支部国際部

蜂谷和仁

今年の6月、高校の修学旅行以来ほぼ40年ぶりに奈良観光を楽しんできました。興福寺、東大寺、薬師寺、法隆寺、大神（おおみわ）神社、長谷寺、飛鳥寺、橘寺、石舞台古墳、高松塚古墳、橿原（かしはら）神宮など、教科書に出てくるような有名スポットを2泊3日で周り、大変慌ただしかったのですがリフレッシュできました。

初日に訪問した東大寺・興福寺では、6月にも関わらず観光客であふれかえっていました。日本人よりも外国人観光客が多く、私の印象では約8～9割は外国人でした。中国、韓国などアジアからの観光客だけでなく、欧米人の観光客も多かったと思います。興福寺近くの公園では、鹿と一緒に記念撮影する外国人も多く見られました。

一方で、法隆寺、薬師寺等では、世界遺産に指定されている寺社であっても外国人観光客はほとんど見かけることはなく、その多くは個人旅行の日本人客あるいは修学旅行生でした。同じ奈良県内の寺社でもここまで観光客の層が違うものかと思いましたが、この理由は何だったのでしょうか？

◎奈良県はインバウンドにとって「日帰り」が多い

下記の観光庁資料は、訪問者の国籍別に「日帰り」の割合が高い上位10都道府県を示した図です。この図を見ると、奈良県は「日帰り」が占める割合の高い県であることがわかります。一般に、東京都周辺（千葉県、埼玉県、神奈川県、栃木県、茨城県、山梨県）や大阪府周辺（京都府・奈良県・兵庫県・滋賀県）では「日帰り」の割合が高く、東京都や大阪府が宿泊の拠点になっているとのこと。

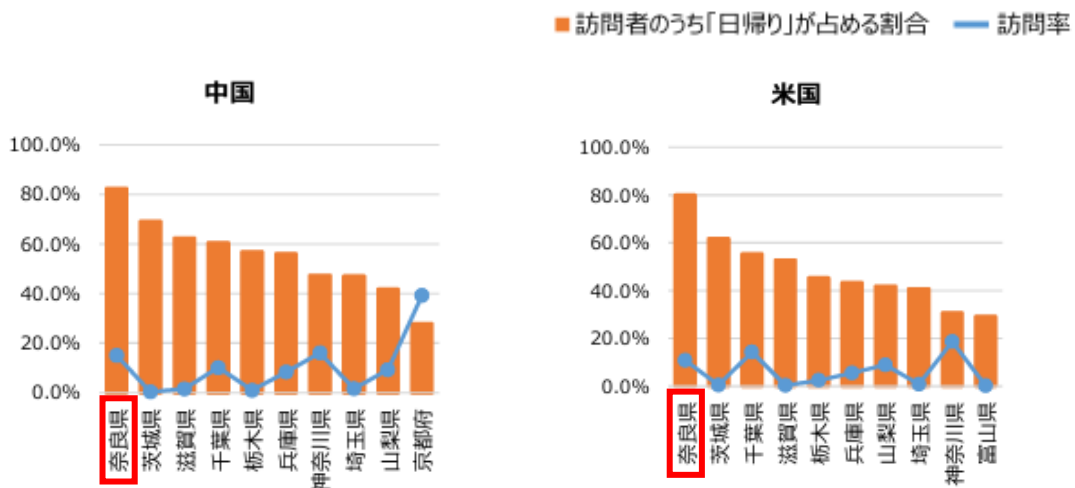


図1 国籍・地域別の訪問者のうち「日帰り」が占める割合

出所：2023年度トピックス分析テーマ①都道府県別訪問状況の分析（観光庁）より抜粋
（奈良県の訪問が多い中国国籍、米国国籍の外国人訪問客の図を抽出）

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/0017543.pdf>

奈良県が「日帰り」の割合が高い理由は、

- ① 奈良県内の宿泊施設の数周辺県と比較して少ないこと
- ② 外国人観光客が奈良県を訪問する場合は「京都×大阪×奈良」「東京×京都×奈良」といった周遊パターンが多く、奈良県の滞在時間が短いこと^{注1)}

であると考えられます。

注1) 表1は「訪日中国人に多い訪問地域パターン」ですが、他のアジア諸国についても「京都×大阪×奈良」の周遊パターンが多い傾向があります。一方、欧州・米国人は「東京×京都×奈良」の周遊パターンが多い傾向です。

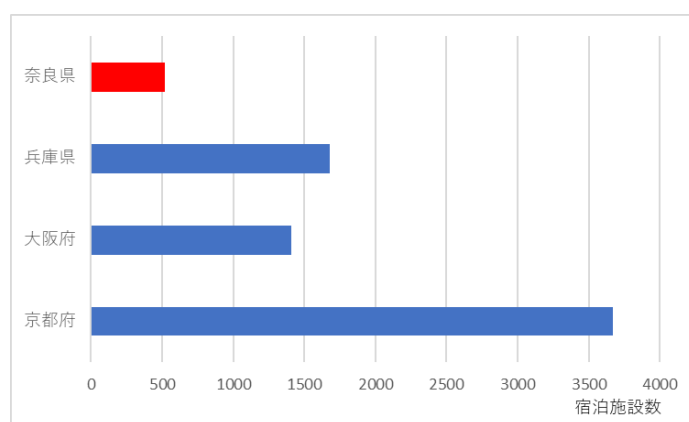


図2 奈良県及び周辺県の宿泊施設数^{注2)}の比較

出所：宿泊旅行統計調査（2023年）より集計

https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/shukuhakutokei.html

注2) 宿泊施設数は、旅館、リゾートホテル、ビジネスホテル、シティホテル、簡易宿所の合計

表1 訪日中国人に多い訪問地域パターン

順位	パターン
1	東京都
2	3運輸局 ^{注3)}
3	京都府×大阪府
4	大阪府
5	京都府×大阪府×奈良県
6	東京都×京都府×大阪府
7	東京都×神奈川県

出所：2023年度トピックス分析テーマ①都道府県別訪問状況の分析（観光庁）より抜粋

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/0017543.pdf>

注3) 「運輸局」は全国で10地域ブロックに分かれています。（北海道、東北、関東、北陸信越、中部、近畿、中国、四国、九州）従って、3運輸局とは3つの地域ブロックを訪問するパターンであり、3都道府県以上訪問している可能性があると思われます。

◎日帰り観光が多く奈良県内の滞在時間が短いと奈良市内中心部の奈良公園エリアに集中

奈良県の滞在時間が短いと、東大寺、興福寺、春日大社等、効率的に観光ができる奈良市内中心部の奈良公園エリアへの訪問が多くなります。その結果、法隆寺、薬師寺等への外国人旅行客の訪問は限定的になると考えられます。

◎さいごに

いま、オーバーツーリズムが問題となっていますが、外国人観光客の方には、奈良公園エリアに限らず、我が国の古代文化の香り豊かで魅力的な観光スポットにも立ち寄って頂きたいと思います。例えば、世界遺産の薬師寺の魅力は国宝の薬師三尊像だけではありません。薬師寺のお坊さんの法話は極めて魅力的です。30秒に一度笑いが起きるほど聞き手を笑わせ、笑っているうちになんだか心もほぐれていくような法話です。英語での生の法話は行われていないようですが、外国人観光客が増えてくれば英語での法話も実現する可能性はあるのではと思います。

最近では、読売新聞大阪本社のわいず倶楽部が国際交流部「英語 de 法話」プロジェクトと題して、薬師寺の法話を英語の字幕付きで動画配信しています。

以上